

胃がん検診を希望される方は必ずお読みください!!

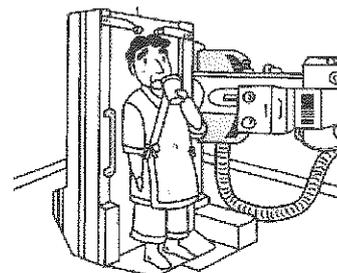
胃がん検診について - 安全に検診を受けていただくために -

胃がん検診は、絶飲食の状態、発泡顆粒（胃を膨らます薬）とバリウムを飲み、X線撮影を行います。検査の際に撮影台が動いたり、ご自身で体を動かしていただきます。

胃がんの早期発見には欠かせませんが、検査中の事故や検診後、体調を崩す可能性のある検査でもありますので、下記の方は、お申込みをされていても当日の問診等でお断りする場合がありますので、ご了承ください。

◎検診を受けることができない方

- ① 妊娠中、またはその可能性がある方
- ② 消化器の病気【例：腸閉塞、腸ねん転、胃や腸に穿孔（穴があく）や出血狭窄（せまくなっているところがある）がある】の既往がある方、治療中の方、疑いがある方。食道・胃・腸に憩室炎があり治療中の方
- ③ 1年以内に胃腸等の腹部や食道手術をした方
- ④ 3カ月以内に食道・胃・腸の組織検（バイオプシー・生検）、ポリープ切除、潰瘍の治療または、食道・胃・腸以外に手術をした方
- ⑤ 現在、水分制限のある方
- ⑥ 心臓や腎臓に病気のある方
- ⑦ 慢性呼吸器疾患で、常時酸素吸入をしている方
- ⑧ 以前にバリウムを飲んで浣腸を使用したり、医療機関を受診するほどのひどい便秘をした方や誤えん（バリウムが肺に入った）のあった方。また、検査中に誤えんの見つかった方
- ⑨ 過去にバリウム・発泡剤でじんましん、おう吐等を生じた方（バリウムアレルギーや過敏症）
- ⑩ 検査当日、血圧が高い方（収縮期血圧180mmHg以上の方、または拡張期血圧110mmHg以上の方）
*検査当日、安全のために血圧測定を行います
- ⑪ 検査当日の体調不良、検査中に気分が悪くなった方
- ⑫ 検査前に絶食や食事制限を守ることができない方
- ⑬ 現在、運動制限がある、体力的に不安があるなどで検査の際に体位変換が困難な方（検診台で、ご自身で体を動かしたり、検診台が向きを変える際、バーを握り体を支えていただく必要があります）
- ⑭ 体重が130kg以上の方



◎次のいずれかに該当する方は、検診を受ける前に必ず主治医にご相談ください

- ① 現在治療中であり、お薬を飲まれている方。特に、インシュリン注射又は、血糖を下げるお薬を飲まれている方は、薬の服用時間や注射する時間について、必ず主治医にご相談ください。
- ② 高血圧や腰痛などで治療されている方
- ③ 食道・胃・腸に憩室のある方
- ④ 誤えんや「せきこみ」「むせ」などを起こしたことのある方、起こしやすい方

◎その他

授乳中の方は検診後の下剤服用により、お子様が下痢の症状を起こす可能性があります。下剤服用後24時間は、粉ミルクを利用するなどの対応をご検討のうえ、ご受診ください。また、下剤服用後の母乳は搾乳して捨てることを、お勧めします。

お問合せ 猪名川町生活部住民保険課 ※4月以降は住民課 健康づくり室（保健センター）

電話 072-766-1000